

香川高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	英語特論Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	1052		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	通信ネットワーク工学科 (2018年度以前入学者)		対象学年	5		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	『新TOEICテストスーパートレーニング 文法・語彙問題編』および自作プリント					
担当教員	畑 伸興					
到達目標						
TOEICテストのPart 5およびPart 6を中心に、学習する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	自分の専門分野に関する内容について、はっきりとした発音で説明されれば、その概要や実験・作業の手順を理解することができる。		自分の専門分野に関する内容について、はっきりとした発音で説明されれば、その概要や実験・作業の手順を理解することができる。		自分の専門分野に関する内容について、はっきりとした発音で説明されれば、その概要や実験・作業の手順を理解することができない。	
評価項目2	論文やマニュアルなど、自分の専門分野に関する文章を、辞書を使いながら読めば、その概要や必要な情報を理解できる。外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語(Y.L.1.2 以上)を辞書無しで読むことができる。		論文やマニュアルなど、自分の専門分野に関する文章を、辞書を使いながら読めば、その概要や必要な情報を理解できる。外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語(Y.L.1.2 以上)を辞書無しで読むことができる。		論文やマニュアルなど、自分の専門分野に関する文章を、辞書を使いながら読めば、その概要や必要な情報を理解できない。外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語(Y.L.1.2 以上)を辞書無しで読むことができない。	
評価項目3	自分の専門分野に関して、平易な英語でプレゼンを行い、内容に関して簡単なやり取りができる。		自分の専門分野に関して、平易な英語でプレゼンを行い、内容に関して簡単なやり取りができる。		自分の専門分野に関して、平易な英語でプレゼンを行い、内容に関して簡単なやり取りができない。	
評価項目4	自分の専門分野に関する英文アブストラクトやプレゼン用の英文資料を、基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。		自分の専門分野に関する英文アブストラクトやプレゼン用の英文資料を、基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。		自分の専門分野に関する英文アブストラクトやプレゼン用の英文資料を、基礎的な語彙や表現を使って書くことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	1.文法や語法の問題・聴解演習を行い, TOEIC や英検に対応できる英語力を高めることを目標とする。					
授業の進め方・方法	1.TOEIC テスト対策を行う。(文法・語法中心)					
注意点	オフィスアワーは火曜日					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス		毎回小テストを行い、教科書の内容の定着を図る。また、できるだけたくさん問題を解くことで、TOEICテストに備える。 b1:1,2 b2:1,2	
		2週	小テストおよび演習		毎回小テストを行い、教科書の内容の定着を図る。また、できるだけたくさん問題を解くことで、TOEICテストに備える。 b1:1,2 b2:1,2	
		3週	小テストおよび演習		毎回小テストを行い、教科書の内容の定着を図る。また、できるだけたくさん問題を解くことで、TOEICテストに備える。 b1:1,2 b2:1,2	
		4週	小テストおよび演習		毎回小テストを行い、教科書の内容の定着を図る。また、できるだけたくさん問題を解くことで、TOEICテストに備える。 b1:1,2 b2:1,2	
		5週	小テストおよび演習		毎回小テストを行い、教科書の内容の定着を図る。また、できるだけたくさん問題を解くことで、TOEICテストに備える。 b1:1,2 b2:1,2	
		6週	小テストおよび演習		毎回小テストを行い、教科書の内容の定着を図る。また、できるだけたくさん問題を解くことで、TOEICテストに備える。 b1:1,2 b2:1,2	
		7週	小テストおよび演習		毎回小テストを行い、教科書の内容の定着を図る。また、できるだけたくさん問題を解くことで、TOEICテストに備える。 b1:1,2 b2:1,2	
		8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	試験返却・解説		毎回小テストを行い、教科書の内容の定着を図る。また、できるだけたくさん問題を解くことで、TOEICテストに備える。 b1:1,2 b2:1,2	

	10週	小テストおよび演習	毎回小テストを行い、教科書の内容の定着を図る。また、できるだけたくさん問題を解くことで、TOEICテストに備える。 b1:1,2 b2:1,2
	11週	小テストおよび演習	毎回小テストを行い、教科書の内容の定着を図る。また、できるだけたくさん問題を解くことで、TOEICテストに備える。 b1:1,2 b2:1,2
	12週	小テストおよび演習	毎回小テストを行い、教科書の内容の定着を図る。また、できるだけたくさん問題を解くことで、TOEICテストに備える。 b1:1,2 b2:1,2
	13週	小テストおよび演習	毎回小テストを行い、教科書の内容の定着を図る。また、できるだけたくさん問題を解くことで、TOEICテストに備える。 b1:1,2 b2:1,2
	14週	小テストおよび演習	毎回小テストを行い、教科書の内容の定着を図る。また、できるだけたくさん問題を解くことで、TOEICテストに備える。 b1:1,2 b2:1,2
	15週	小テストおよび演習	毎回小テストを行い、教科書の内容の定着を図る。また、できるだけたくさん問題を解くことで、TOEICテストに備える。 b1:1,2 b2:1,2
	16週	前期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100	
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	